

第32回 黒沢川清掃活動

平成25年8月4日(日)に32回目の黒沢川清掃活動が行われました。

小中学生で実行委員会を立ち上げ、委員長決めテーマ決め、ポスター書き等事前に行ない、当日は、それぞれの集合場所にて、開会式であいさつや注意事項を実行委員会から行いました。



テーマ決めの様子

今年のテーマ「未来に残そう黒沢川」

～誰が清掃するのか みんなでしょ!～

ポスター書きの様子



地域の大人の方々とともにゴミ拾いや草刈を行ない、ともに汗をかき、黒沢川を通して共通の時間をもつことが、32年間続いており、毎年1000人弱の参加

者があります。小中学校の先生達も協力していただき、黒沢川を通して子ども達が地域の一員としての絆が深まっていると思えます。実行委員会としては、反省会もおこない次年度につなげます。

(青少年対策小曾木地区委員会 会長 島田福美)



当日の富岡地区の様子

ジュニアリーダーキャンプ

平成25年7月27日～28日、会場を風の子太陽の子広場で予定しておりましたが、雷雨の予報で急きょ成木市民センターに変更しての開催となりました。

集団の中で規律を学び、野外生活の初歩を学び、主体的に行動することを目的とし、小4～小6年生対象に呼びかけ、



この後は笑顔と笑い声!

参加者は成木小23名、七小8名とボランティア2名(中1、高1)でした。予定も大幅に変更し、成木川沿いを木々の葉っぱ探しや野菜の名前集め等、班ごとに行ないました。日中はとてもいい天気でしたが、キャンプファイヤーをやる直前の雷雨!! しかし子ども達は雷に負けないくらい大きな声で体育館の中でゲームを楽しみ、体育館の中に貼ったテントの中で静かに寝ました。(一部徹夜組も!)

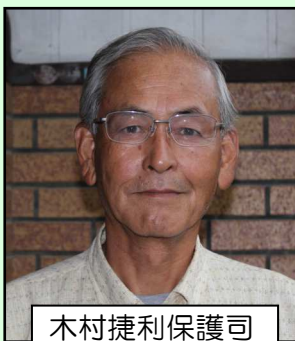
夕飯はカレー、ご飯は飯ごうを使い外で!



成木小、七小と学校は違って子ども達はすぐに打ち解け、班ごとに食事やゲームなど楽しんで、解散の時は淋しそうでした。夏の良き思い出となったと思います。(島田福美)

地域の活動 第4回

保護司の活動



木村捷利保護司

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える役割を担っています(民間のボランティア)。保護観察官(法務省)と協同して、活動しています。

守秘義務を持ち、深く静かに行う対象者の処遇。

- ①対象者と接触を保ち更生を促す: 保護観察。
- ②出所する対象者がスムーズに社会復帰を果たせる為に必要な受け入れ態勢をつくる: 環境調整。

広くにぎやかに繰り広げる社会を明るくする運動。
③犯罪や非行の防止と、犯罪をした人や非行のある少年の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

小曾木・成木地区は犯罪が少ない地域です。日頃の防犯・安全・安心への諸地域活動やご家庭の努力のたまものと思います。

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力にご協力を～

- 保護司人員 青梅37名 うち小曾木・成木5名
- 西多摩地区保護司会理事 黒沢2丁目 柳内昭治
- 同上 青梅分区理事 小曾木3丁目 木村捷利